

ロベコ、日本での資産運用業務の本格展開に向け事業戦略を発表

【2014年9月18日、ロッテルダム・東京】

グローバルに展開する資産運用会社ロベコ グループN.V.(オランダ・ロッテルダム、最高経営責任者 ロデリック・マンスタース、以下ロベコ)及び日本法人であるロベコ・ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 黒岩 喜久男、以下ロベコ・ジャパン)は本日、日本における投資運用業務の本格展開に向けた事業戦略を発表いたしました。

ロベコは1929年にオランダのロッテルダムで設立された資産運用会社で、85年にわたり資産運用を中核事業と位置づけてきました。安定した運用チームによる一貫性のある運用スタイルで、伝統的資産からオルタナティブ分野まで幅広い投資商品を有しています。またロベコが誇る革新的なクオンツ分析やサステナビリティ分析は、資産運用において重要な付加価値の源泉となると確信し、徹底した調査と強固なリスク管理と共に、これら分析を効率的に活かしています。

日本においては、2005年にアジア最初の拠点として東京オフィスを開設し、投資助言・代理業者として国内の運用機関を経由して投資家にロベコの運用戦略を提供して参りました。この度、日本にて自らの手による新たなビジネス展開を行う為、昨年9月に日本法人を設立。今年6月には投資運用業登録を終え、機関投資家等を対象に投資一任サービスを開始いたしました。

【事業戦略】

新たな事業展開に踏みだしたロベコ・ジャパンは、以下の3つの顧客セグメントに対して、ロベコグループの様々な投資手法から厳選した運用戦略を紹介し、投資一任契約に係る運用サービスの拡大を図ります。

— 顧客セグメント —

- ① 国内の私的・公的年金基金等
- ② 銀行・保険会社などの金融機関
- ③ 投資信託業務に関連する国内の運用会社、証券会社、銀行など

ロベコ・ジャパンは、年金基金や金融機関などの機関投資家に対して、各ニーズに応じた最適な運用商品を直接お届け致します。投資信託業務では、国内の運用機関のサブアドバイザーとして個人投資家の要望に沿う投資手法・運用商品の積極的な提案を行い、タイミングを鑑みて提供させて頂きます。

具体例としては、ロベコの多くの運用戦略の中核となるクオンツ戦略を用いた各種の株式・債券運用、シャープレシオを意識したスマートベータ株式運用、また新興国市場を投資対象としたクオンツ新興国株式運用、アグリゲート債券運用、ハイイールド債券運用等、各資金の特性に合った運用商品を提案して参ります。

特に、クオンツ運用の分野においては、ロベコは1990年代初頭より定量分析を駆使した銘柄選択に取り組み先駆者であり、現在では様々な地域を投資対象とする株式・債券運用に応用しています。また、低ボラティリティ・ファクターを利用する先進国及び新興国のコンサバティブ運用でも、自社開発のクオンツモデルを活用しています。

更には、ESG(環境・社会・ガバナンス)分析を長期的な観点で組み入れるサステナビリティ投資について、同分野の世界的リーダーとして、利益成長が持続的に見込める銘柄への投資及び環境関連投資を日本でも広く紹介して参ります。

ロベコの最高経営責任者(CEO) ロデリック・マンスターズは、次のように述べています。
「2014年から2018年のロベコの事業戦略は、「成長の加速」を柱とし、特に日本での事業拡大を重要視しています。ロベコ・ジャパンの新しい事業戦略と、大株主であるオリックス株式会社の支持により、日本において今後飛躍的な成長を遂げると確信しています。
日本のお客様に最先端の投資手法やサービスをご提供すべく、今後一層の努力を尽くして参ります。」

また、ロベコ・ジャパンの代表取締役社長 黒岩 喜久男は、資産運用業務の本格展開に際し、次のように述べています。
「確立した年金制度を有するオランダを代表する運用機関としてロベコは80年以上にわたり、年金基金を始めとする各種機関投資家に資産運用業務を提供して参りました。ロベコ・ジャパンはロベコの日本拠点として、日本の年金基金・金融機関の皆様方にロベコの秀でた運用商品を選びすぐって提供させて頂きます。また、日本でも最近よく耳にするESGの考え方をロベコでは早くから株式と債券の運用プロセスに取り入れており、ESG投資の理念をご紹介させて頂きたいと考えております。」

ロベコ・ジャパンは今後、これまでにロベコが世界各国で積み上げてきた信頼と実績を基に日本の投資家に満足頂ける運用商品の提供を行い、ロベコのグローバル展開において重要な役割を果たし、同時に日本の資産運用の発展に更に貢献して参ります。

【ロベコグループN.V.について】

ロベコグループN.V.(ロベコ)は、幅広い運用戦略による投資ソリューションを機関投資家、個人投資家そして販売会社に提供する世界有数のグローバルな資産運用会社です。ロベコの運用資産総額は、2014年6月30日現在、2,230億ユーロ(約31兆円*)にのぼり、うち48%は機関投資家の資産を運用しています。2013年の純利益は118百万ユーロ(約164億円*)でした。ロベコはオランダのロッテルダムに本社を置き、グループ全体では世界13カ国の拠点に1,338名**のプロフェッショナルな人材を擁しています(2013年期中平均)。当社はこれまでに米国、欧州、アジアにおいて強固な基盤を確立して参りましたが、現在はインドや南米などの主要新興国でも業務拡大を図っています。

ロベコは、1929年にオランダのロッテルダムで‘Rotterdamsch Beleggings Consortium’として設立されました。今日では主要株主であるオリックス株式会社のグローバルな資産運用業務の牽引役を担っています。ロベコグループは、ロベコ・インベストメント・マネジメント、コアストーン・インベストメント・マネジャーズ、ハーバー・キャピタル・アドバイザーズ、トランストレンド、ロベコSAM、カナラ・ロベコ・アセット・マネジメント・カンパニーなどの子会社、並びにジョイント・ベンチャーにより構成されています。

ロベコ・ジャパン株式会社はロベコグループN.V.の日本法人で、2013年9月に設立。

* 2014年6月末時点 (1ユーロ=139円で換算)

** 2013年の期中平均